くにみ

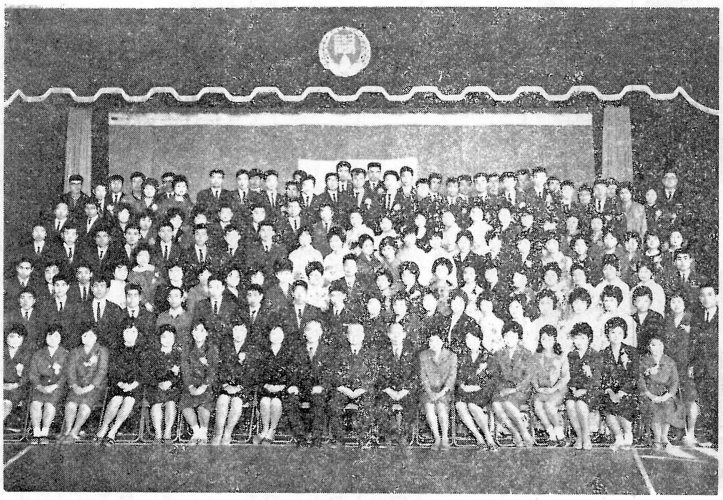
【第65号】
昭和38年2月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

わたくしたちは主権者！よく見・よく聞き・よく考えて

公明選挙を進めましょう

来る四月十七日県議会議員、四月三十日町議会議員の両選挙が相次いで予定されております。このようなわたくしたちの身近かな地方選挙を控え、買収や供応などのないが立派な、明るいできるわけです。しかし世きれいな選挙が行なわれますよう、みんなで努力しましょう。公明選挙運動とは、一口にいって、理想・選挙を実現しようとする国民・運動であります。

選挙とは私たちが私たちの代表者を選ぶことです。私たちは、自分自身の意思で、自由に候補者を選ぶことの中には、「あの人に頼まれたから」とか「あの人に義理があるから」というようなことで、候補者の人格や良識をみきわめずに投票する人がおります。もともと選挙というものは、義理、人情というような古い考え方や、長いものには巻かれろ式の思想を破って、私たち自らの個性を尊重するという考え方の下に生れたのですから、このような古い考え方で投票するとしたら選挙をする意味は全くなくなってしまいます。



成人式を迎えた新有権者たち

それでは選挙をするには、どのようなことに注意すればよいのでしょうか。

(イ)まず国とか地方とかの政治をよく見る必要があります。現在どのような政策のもとに政治が行われているかもし欠点があるとすれば、どのようなことが原因になっているのかを考えましょう。私達の生活をゆたかにし、住みよい社会をつくるには良い政治が行われなければなりません。それには主権者である私たちが、正しい政治を行なう私たちの代表者を、明るいきれいな選挙によって選ぶことです。つまり正しい選挙は、明るい政治のもとであることを銘記しなければなりません。

(ロ)前の選挙で当選した人は、はたして私たちの意思を反映して政治を行なっているか、代表者の名にあたいするかをよくよく見きわめることがたいせつです。

(ハ)候補者のかかげている政策やその人格はどうであるかをよく調べましょう。

選挙運動期間中は、選挙公報・選挙公告・政見放送・経歴放送・立合演説会・個人演説会・街頭演説などをつとめてよく見、よく聞く必要があります。

(ニ)事前運動を排しましょう。悪質な候補者になると、当選のその日から次の選挙を目ざして選挙運動を行なっているといわれています。「選挙には金がつきものだ」というのはこのようなことが原因なのです。事前運動をするような候補者は、いわば入学試験のとき、裏口入学をしようとするのと同じことで、金や地盤などがなければ当選することは不可能な人なのです。これらの人は、私たちの同情をかおうとしたり、弱みにつけこんだりしてくるので、よくよく注意しなければなりません。ほんとうに選挙には義理とか人情とかは禁物です。私たちの一票一票によって悪質な事前運動をするような候補者をしめ出しましょう。

◎しあわせは　売った票から逃げていく
◎買収に　乗れば悪政はねかえる
◎町ぐるみ　買収追放明るい日本
◎締め出せ買収　けとばせ供応
◎情とも　金とも結ばぬこの一票
◎買収されるなお父さん　供応されるなお母さん
◎尊い一票　義理やお金にかえてはならぬ
◎パパとママ　ぼくらも見てますきれいな選挙
◎票買いは　お帰りください　ぼくの町

◎締め出せ買収、けとばせ供応……公明選挙は郷土の誇り

お母さまありがとう
姑と嫁の交歓会

近頃、若妻グループが発展するにつれ、お姑さんたちが遠慮し、主婦学級や婦人学級がすたれるという話がある。これはとんでもないことで、姑あっての嫁であり、姑と嫁は娘と組んで婦人連合軍をつくり、男性軍に対抗せようなどとアジるやからもいるとおり、あくまで先輩として姑を立て、その豊かな経験を生かして嫁をみちびいてもらつてこそ、若妻学級も発展するというもの、ここに目をつけ、最近お姑さんを招いて食事を共にし、姑と嫁が仲よく話し合うことが各所に行われている。筆者が近ごろ参加の機会を与えていただいたものだけでも次の三つがあるのでここにご紹介しておく。

山崎北、泉会　二月五日
森北のばら会　二月十日
塚野目若葉会　二月十七日
写真はのばら会

若い情熱で町づくりを！
連青のリーダー研修会

国見町連合青年団（団長矢部安男君）では町公民館と共催でリーダー講習会を開いた。二月二、三、四の二泊三日にわたり、土湯にある福島市青少年の家で行われた。これには連青幹部四〇名が参加し、若い情熱とたくましい力をもつて町づくりの意欲を

1、最近お姑さんを招いて食事を共にし、姑と嫁が仲よく話し合うこと
2、共に理解し、信じ合える友をつくろう
3、一人はみんなのために、みんなは一人のために

をスローガンにかかげ、佐藤館長、鈴木主事も団員と寝食を共にした。又講習課目として、才一日は農改所長根本先生の「農業情勢と農村青年の心構え」、才二日午前は福島民友斎藤英記先生の「社会情勢と青年」、午後は福島一中遠藤文子先生の「愛情と結婚問題」、才三日は体育指導委員佐藤元一さんを招いてスキー講習とギッシリつまったプログラムに一同ややグロッキー気分だったが、そこは若い情熱で最後まではりきつてつづけた。尚夜の行事としてはフイルムフオーラムやゲームともりだくさんで、他に見ない充実した催おしとの反省があった。

第3回（スライドの使い方など研修）婦人リーダー

二月十一日（月）午前十時から、役場小会議室や日本間を使つて、婦人リーダー研修会を開いた。教材としての幻灯スライドの使い方、婦人学級、若妻学級のすすめ方、県や郡の研修会出席者の伝達方法、公明選挙や新生活運動のすすめ方などについて、分科会にわかれて研究し、午後三時解散した。出席者四〇名。写真は若妻グループの話しあい

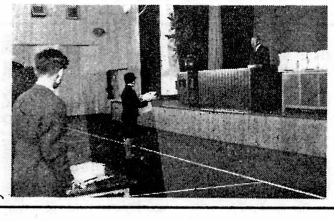
"人づくりの第一歩"
青年学級で農業講座

国見町青年学級では、時代の進歩に即応し、農業生産構造を改善して、企業化体制を推進するための中堅農民を養成するための第一段階として、農業講座を開催することになり、目下その講座生を募集中である。その要項は次のとおりである。

記

◎開催主体及協力機関町教育委員会が主体となり町及び町農委、農協及び農業改良普及所が協力する
◎開催期間及び日数
二月十日より三月三十一日までとし、その間に十日間開講する。
◎対象者及び人員
国見町に居住し、農業に従事する男女で、年令満十八才より二十五才迄とし、人員五十名とする。
◎講座課目
農政時事、農業経営、作物一般、果樹蔬菜、病理昆虫、土壌肥料、畜産、農業気象、農業機械、農業土木、農業簿記、生活改善、グループ活動、県内又は県外研修、鑑定診断、審査、判定技術
◎講師
農業改良普及所、県出先関係機関、町役場、高校、町教委等の専門職員を委嘱する
◎受講申込手続
三に該当する者で、部落長農業改良推進員の推せんにより教育長に申込むものとする。推せん書（様式第一号）は経営調査書を添えて二月十八日までに申込む。尚推せん者はあらかじめ本人及び世帯主の内諾を受けておくこと。
◎経費
事務費、職員費、教材費は町費とし、研修費は各自負担とする。
◎学習形態
講義、実演、討議、視察見学を重視し、特に県内又は県外研修旅行をする
◎テキスト
昭和三十七年度ラジオ農業学校テキストを使用する。
◎その他
来年度は引続き才二、三期を実施したい（約二十日間ぐらい）
本科修了後はコース制で専門研究に入る。（稲作、果樹、畜産、酪農、養鶏、蔬菜など）

"ろくおん"
男性だけの式服論議



ときき…成人式後の一ときところ…そばやの二階ひと…成人式をおわつてきた青年たち五名注文した中華そばがくるまでの彼らの話。よほど腹がへつているものと見え、まず食べもののことから、

「ああハラへつた。おひるには、会食があると先輩の話だつたが……」

「近代化してまんじゆうになつたのだ。」

「やつぱり、みんなで語るだ、んらんのひと時がほしいな。」

「おこわにこもるおふくろの味か……」

「女の子も訪問着を着るときれいになるもんだな、馬子にもいしようか……」

「まるでマネキン人形みてえだな。」

「女はバケモノというあれの標本か。」

「きれいになるんではなくてきれいに見えるだけなんだ。」

「所謂白痴美というやつか。」

「娘は売り物と考えている親としてはやはり宣伝効果をねらつているのだろう。」

「さわればこわれ、吹けばふつとぶかざりものか。」

「そこにいくと洋服はさりつとして」

「しやんとして、活動的でたのもしいなあ。」

「記念撮影の後片づけに、男と一緒にせつせと大きな長机や重い腰掛を運んでいたな。」

「振袖は二十人もいて、手伝つたのは一人もなかつたよ。」

「女の出席八〇人のうち訪問着二〇人、二五パーセントというところか。」

「ほかの町では、成人式をだしに訪問着ブームをまきおこしたとか。」

「ハイヤーで玄関に……。」

「それでいて式の時間にまにあわず、から戻りしたか。」

「晴着がないから欠席したとか……。」

一同口をそろえて「ああ成人式は泣く……。」

（次号は女性の声を放送の予定）

◎ラジオ農業学校テキストは今すぐ農業推進員に申込んで下さい（一冊一〇〇円）

教材ものがたり

—(テキストの巻)—

近ごろ町内にたくさんの婦人学級ができ、若いおかあさんやおばあさんたちが、ねっしんに勉強しておられます。近所のみんなと手をつなぎ、心をあわせて、はげしくうつりかわる世の中におくれまい、育ちゆく子どもたちに負けまいと、しんけんにやっておられるすがたを見せられ、あたまがさがります。

おたがいに力をあわせ、手をとりあって勉強（相互学習）するとき、一ぱんたいせつなことは、良い教具と教材を利用することです。わたくしたちのグループをたすけ、そのあたりおすすめしたい「話し合いのテキスト」をご紹介しましょう。（内容の一部）

オ一冊グループの学習
①なぜグループで学習するのか
②グループの大きさについて
③個人の学習とグループの学習
④早く仲よしになるには
⑤グループの中の役割と心がまえ
⑥助言者をどう生かすか
⑦グループ学習の内容
⑧教材教具の生かし方
⑨ラジオ・テレビの利用
⑩グループ学習と実践

オ二冊選挙のべんきょう
①婦人と選挙
②団体での選挙
③公職の選挙
④外国の選挙と日本の選挙
⑤選挙人の心がまえ
⑥政治学習の意味とすすめかた

オ三冊児童期のしつけ
①あそびとおこづかい
②子どもとマスコミ
③まんがとよみもの
④お手つだい
⑤勉強ずきにする
⑥親のもんだい

オ四冊夫と妻
①結婚の意味
②家庭づくり
③家族計画
④夫婦と子ども
⑤夫婦と財産
⑥真実の和合

オ五冊反抗期の子ども
①子どもの反抗
②交友
③親と子
④性教育
⑤非行
⑥反抗期と母親

オ六冊政治のべんきょう
①遠くて近いもの
②お米の右と左—台所と政治
③町長さんへの注文
④みんなのもの—国の政治

オ七冊上手な話しかた
①話すということ
②話し上手と聞き上手
③話しかたのエチケット
④聞き手を動かす話し方
⑤スピーチと報告
⑥グループでの話しあい

オ一～四冊はそれぞれ三〇部づつ揃えてあります。グループ学習のとき利用して下さい。

※購入ご希望の方には一部六〇円（諸経費当館負担）であっせんします。

※実物見本は八〇円切手を添えて左記へお申込下さい。

東京都千代田区神田神保町一ノ三〇
婦人教育研究所

ください。公民館にもいろいろ用意してありますが、さしあたりおすすめしたい「話し合いのテキスト」をご紹介しましょう。（内容の一部）

みんなで考え みんなで行なう

森江野で新生活発表会

二月三日森江野地区では、二カ年にわたる新生活運動の成果の発表報告会を開いた。午前中が「集会活動の参観」で「若妻学級生の交歓学習」を行い、地区内にある九つの若妻グループ一七〇名の学級生のために、分科会や講演会をした。三つの分科会学習は、楽しい中にも勉強の内容や学級運営の有意義な時間をすごし、ことに全体学習における福島市婦人教育指導委員遠藤文子先生のお話は一五〇名にもおよぶ参加者をも含め深い感銘を受けた。

午後が「新生活運動のすすめかたの研究討議」で、森江野社教連二か年間の実践報告とそれぞれの体験やなやみを話し合った結果、つぎのようなまとめができた。他地区や他町から参観にきている多数の学級生や指導者たちも、森江野の若妻たちのなまの声をききしてはつよい刺激となった。

○近くのグループとさそい合って福島市内の見学をした。調査や見学は楽しく、そしてはつらいおぼえられる。

○レース編みなど手芸の学習は、いつまでやっていても時間をわすれてしまう。

○リレー式のグループ日記を書いている。農繁期だけで三冊もたまった。みんなの書いたものを読むのは楽しいものだし、新かなづかいや新漢字の勉強に役立つ。

○秋野菜や雪中たまねの作りかたなど生産につながる学習はおもしろく出席がよい。

○ローマ字を習って子どもの教育に役立った。

○交通規則の話は身近かな問題なので多く集まった。

○婦人学級の全体学習（中央学習）で習った料理などをグループに帰って実習した。

○姑を招いて会食し、なごやかなふんい気の中で話し合って喜ばれた。

(三)、学級費はいくらで、どうして集めているか。

○もと月一〇円だったが、講師謝礼や研修旅費が足りないので二〇円にした。

○毎月卵二個とし、集まるたびに一個づつ持ちよる。

○月始めに集金係りが集めて農協に預けておく。

○稲刈り、共同出荷の手伝い、家庭日用品のあっせんなどの収入をあてている。

○グループを代表して研修に出席した人には、バス代と日当五〇円を出している。

(四)、リーダーの人はどんなことに苦労しているか。

○学習の場所を見つけるに困るグループがある。

○どうしたら多くの人に集まってもらえるかという心配が大きい。

○連絡係りがみんなを誘い合っている。

○リーダーに心配をかけない申し合せをした。

○一人一役で、会員はみんな何かの役割をもち、責任をもつようになっている。

○ことばだけでなく、紙に書いたものを出せば家庭の人にもわかってもらえる。

○ときどきは主婦学級といっしょに学習するようにくふうする。

○集まったら別れるときに必らず次回の学習についてこまかに打合せしておく。

二～三回お寺または公民館に集まって、テレビや映画幻灯を見たり、講師のお話をきいたり、若い人たちと話し合いをしたりして、大いに今どきの新しい勉強をし、愛されるとしよりになろうとはりきっている。会員三十名平均年令七十四才。

写真は運営委員

若妻たちは語る!!

グループの交歓会

若妻学級が全地域に誕生した森江野地区では、このグループごとの学習をどう進めるかが、現在の大きな課題である。そこで、二月三日午前小学校で交歓学習を行ない、それぞれの体験やなやみを話し合った結果、つぎのようなまとめができた。他地区や他町から参観にきている多数の学級生や指導者たちも、森江野の若妻たちのなまの声をきき、その活発さにびっくりしていた。

交歓学習の記録

(一)、どんな学習がよろこばれたか（学習内容）

○映画や幻灯を見て話し合いに入ったらうまくいった。

タクアンが恋しい!

八島君より第一便

一月二十九日横浜港を出発した欧州農業実習生八島博正君からの第一便が、本月九日本館に届いた。同便によればフランス豪華船ラオス号で、欧米人の中に純フランス式の生活を送っているが、やはりタクアンの味が恋しくなったと述べている。同君はこれから香港→シンガポール→サイゴン→ボンベー→ジブチ→ポートサイド→マルセーユの予定。マルセーユには三月一日着。三月三日パリ着、五日デンマークコペンハーゲン着の予定である。八島君の便り全文つぎのとおりである。

今回、欧州農業実習生として、農林省よりデンマーク国に派遣されるに際し、町当局、公民館、議会、福農同窓会支部、県北中同窓会を始め各種団体、町民皆々様の御支援に対して心から感謝致します。

おかげ様で、二十九日午後五時ラランス船ラオス号に出港致しました。きょうで四日目、多少船の生活にもなれてきました。

ラオス号はフランス客船ですばらしい船です。きょうもまっ白な船体を一路香港へと進めています。船の中はフランス語だけです。英語もまんぞくに話せないわたくしたちですが、なんとか日常生活用語だけは通じます。食事はまったくフランス料理です。二、三回はよいのですが、やはりこう毎日ではタクアンが恋しくなります。しかし、日本ではたべることのできないようなすばらしいものです。朝八時半、昼十二時、四時にお茶とケーキ、七時夕食です。その間は自由に遊んでいます。映画は毎日位ありますし、これから暑くなるとプールもあります。又卓球、デッキゴルフとか、トランプその他各種の遊び道具もあります。

又、フランス人、マレー人、インド人、スエーデン人その他アメリカ、ドイツなどの人たちがいっしょなので、その人たちと話しているのも楽しいです。どうにか、手まね足まねで話しているうちに、英語もフランス語も、ちょっとしたものはすぐおぼえます。三つの単語で実に多くの用途があってなかなか便利です。又、日本語のちょっとしたものは、二、三日でどの外国人も話すようになりました。

こんな次第で、実におもしろい船旅です。きのう時計を一時間程おくらせました。だいぶ暑くなり、アンダーシャツ一枚でもようよい位です。海も静かで快適な船旅を楽しんでいます。

では出発のごあいさつをかね、船中の生活のようすをお知らせしてお礼と致します。

（二月二日、ラオス号にて　八島博正）

今どきのとしよりになろう…

高城のおばあさん学級

平均寿命がのびたからには、一度若返って、家のため、世の中のためにつくそうと、おばあさんだけで、ねっしんに勉強しているグループがある。高城安養寺の観音講のおばあさんたちで、これまでは他の講中と同じくお寺まいりのついでに法話をきいて、安心立命、愛されるとしよりになろうと、年に二～三回集まる程度であったが、近ごろ世の中がはげしくうつりかわり、若い人たちがさかんに勉強しているのを見て、じぶんたちもまけずにやろうと婦人学級にふみきったのである。月二～三回お寺または公民館に集まって、テレビや映画幻灯を見たり、講師のお話をきいたり、若い人たちと話し合いをしたりして、大いに今どきの新しい勉強をし、愛されるとしよりになろうとはりきっている。会員三十名平均年令七十四才。

写真は運営委員

いまの夫はどうか?

婦人会アンケート

ある婦人会で、アンケートをとった。「あなたはこんな夫を選ぶとき、いまの夫を再び選ぶかどうか」という意味のもの。

四八%……再びえらぶ
三六%……えらばない
一四%……わからぬ
二%……しかたない

これでみると、今の夫で満足、それにしかたないと入れて、まず五〇%は合格、三六%は不満、こりこりした一四%もどうも不信らしく、これも五〇%。まず半々ということろ。お互いにつとめて努力し、また一諸にくらしたい人が多くなれば幸です。

お わ び

○先月号で、森江野の定休日は毎月オ一、オ三月曜日とあるは日曜日の誤りにつき訂正します

編集後記

◎住みよい社会は正しい政治から……正しい政治は明るい選挙から

◎新しい町づくりは家庭の民主化からと……家庭の民主化はとしよりの学習から

◎人づくりは青年から……同時に農家の花嫁から

◎グループ学習は教材から……教材はテキストから

◎新生活運動は森江野から……森江野は農研と若妻から

◎無火災はみんなの協力から……火の始末人に頼むな任せるな

◎よいちえは適当な休養と教養から……休養、教養も定休日の設定から